



～ 2 学期 終了 ～

2 学期開始とともに、キラ星祭が秒読みという慌ただしさでした。準備も着々と進み、いざ本番を迎えるとインフルエンザの大流行により、多数の欠席者、学級閉鎖にまで至ったクラスもありました。さらに、後夜祭の延期という苦渋の選択をしなければならぬ事態になり、保護者のみなさま、生徒諸君に大変辛い思いをさせてしまいました。しかしながら、その間に見せてくれた生徒諸君の集中力と団結力は、さすが浦添高校という印象が強く残りました。

10 月になり 3 年生は進路対策とともに中間テスト対策に追われました。1・2 年生は中間テスト対策とともに新人大会の対応と相変わらずの忙しさでした。特に新人大会や各種発表会等では各競技、各分野で浦添高校の活躍が新聞紙上を賑わせました。先輩達が築いた伝統を後輩達はしっかり受け継いでいることを証明してくれました。

11 月は男子サッカー選手権県大会準優勝の快挙。また、空手道部が九州大会で大暴れし、形、組手で全国選抜大会の出場権を勝ち取りました。さらに、生徒に負けず劣らず、瀬良垣世堅先生が県教育委員会より優秀教育職員表彰を受けました。

時を同じくして、2 年生の砂川拓希君を交通事故で亡くしました。深い悲しみと無念さで、二度とこのような悲劇を起こしてはならないと心に誓いました。

LGBT の清さんの話は深く考えさせられました。英検合格者数は、浦添高校の新たな可能性を実感させました。インターシップ、10 時間勉強会、模試、芸術鑑賞・・・etc

本当にたくさんの活動があって、どれもこれも生徒のみなさんにとってキャリアとなり、人生の糧になることでしょう。生徒諸君、職員のみなさん 2 学期ほんとうにお疲れ様でした。

● スマートフォン考 ●

最初の携帯電話は、お笑い芸人の平野ノラさんでおなじみのショルダーフォン (1985 年) でした。まさにバブル期でビジネスマンが持っていました。始めて見たとき爆笑したのを覚えています。

あれからポケベル時代、PHS 時代を経て、ガラケーと呼ばれる時代が続き、今日のスマートフォンの時代に突入しています。(意味がわからない生徒は保護者に聞いてください)

小学生の頃の先生が「電話でケンカをしてはいけません。」と教えてくれました。要するに相手の表情が見えないとお互いの気持ちが伝わらないということです。

現在のコミュニケーションツールとして、電話よりも Line 等が主流となっていますが、その功罪について深く理解し、注意しなければなりません。

書き込みによるトラブル、性被害、歩きスマホでの事故、なりすまし・・・等、最たるものは、座間で起こった連続殺人事件。

全国で起こっていることは、自分にも起こりうると思えるべきです。

*** 校長 雑感 ***

お世話になったみなさまへ。事務職員のみなさんは表には現れない縁の下の力持ち。先生方は生徒のことを何よりも大切に考えてくれました。PTA のみなさまは、「子ども達のために」の一言で集まってくれます。その他、学校医、歯科医、薬剤師、学校評議員、後援会、同窓会、内閣自治会等地域のみなさま、そして、生徒のみなさんにも本当に感謝しています。 謝 謝

～～～ 時の言葉 ～～～

笑顔は 1 ドルの元手もかからないが、100 万ドルの価値を生み出してくれる。



カーネギー (実業家)

笑顔の人を見ると自然と心がなごみ、幸せな気分になります。笑顔でいると周りの人や場の空気もなごませ、物事がスムーズに進んでいくような気がします。

笑顔は、人生にたくさんの喜びと幸福をもたらしてくれるものだと信じているので、常にそうしようと思っています。校長

～平成 30 年 (2018)～

新たな年を迎える。来年はどんな年にしたいか考える。また、どういことに挑戦しようかと考える。考えるだけでワクワクする。

生徒のみなさんはどのように新年を迎えるだろうか？これからの人生をどう生きていくか、考えを巡らすチャンスかもしれない。

私の高校時代はただ 1 点のみだった。“世界一強くなりたい”ただそれだけだった。今考えると滑稽のように思えるが、これが大まじめであった。だから空手に打ち込み心血を注いだ。

新たな年を迎えるにあたり、あなたは何を思い、どう在りたいと考えますか？

あなたの “Next stage!” は？